

資源としての河川利用の高度化に関する検討会 概要

- 開催期間 : 平成26年12月～平成28年2月(計6回開催)
- 構成 : 委員4名(学識経験者(座長:小幡純子上智大学法科大学院教授他3名)
ゲストスピーカー(第1回～第5回)
- 趣旨 : 資源としての河川の有効活用の観点から、小水力発電、河川敷地利用の更なる可能性、その利用方法等の検討を行う。
- 開催実績(☆制度説明 ★事例紹介)
 - 第1回 : ☆水利権
★小水力発電を核にした地域づくり等(石徹白^{いとしろ}ほか全国9件)
 - 第2回 : ☆河川敷地占用許可(全般)
★水辺空間の活用(水都大阪、渋谷川再開発)
 - 第3回 : ★小水力発電事業に係る資金、水辺空間の活用(日本橋地域)
 - 第4回 : ☆慣行水利権
★慣行水利権を利用した従属発電(宇奈月谷^{うなづきだに})、民間活力利用の小水力発電事業(寺山ダム)
 - 第5回 : ☆河川敷地占用許可(河川空間のオープン化)
★水辺空間の活用(隅田川)、ミズベリング・プロジェクトの取り組み
 - 第6回 : 取りまとめ(課題の整理、進めるべき方向性・方策)

委員及びゲストスピーカー

<委員>

安登 利幸 亜細亜大学経営学部教授
奥田 進一 拓殖大学政経学部教授
◎小幡 純子 上智大学法科大学院教授
三浦 大介 神奈川大学法学部長

◎:座長
(敬称略、五十音順)

<ゲストスピーカー>

第1回 : 上坂 博亨 富山国際大学現代社会学部教授
中島 大 全国小水力利用推進協議会事務局長
第2回 : 大坪 安則 東京急行電鉄(株)渋谷開発事業部担当部長
古賀 良子 同 開発第二部
高梨 日出夫 水都大阪パートナーズ代表理事
第3回 : 有年 和廣 (株)日本政策投資銀行南九州支店業務課長
原田 啓太 同 業務課
篠生 政士 三井不動産(株)日本橋街づくり推進部事業グループ統括
第4回 : 上坂 博亨 富山国際大学現代社会学部教授
鷹尾伏 亮 日本工営(株)エネルギーソリューション部 課長
第5回 : 知久 和男 タリーズコーヒージャパン(株)事業開発本部事業開発管理グループグループ長
山名 清隆 ミズベリング・プロジェクト事務局プロデューサー

(敬称略)

河川を利用した再生可能エネルギー（小水力発電）の普及拡大

地域の課題解決に資するなど公共性の高い事業への支援・推奨

- ・小水力発電事業を分類、整理、評価



・小水力発電で生み出した電気を地域のコミュニティーバスに活用

小水力発電事業参入への抵抗感を払拭

- ・各種事例を広く周知
- ・事業者にとって必要な情報の適時適切な提供



- ・慣行水利権を利用した従属発電の事例の追加
- ・プロジェクト形成支援窓口等の一覧を掲載

小水力発電 普及拡大

慣行水利権の認知を高めて実態把握

- ・水利使用に係わる部局との連携

潜在的な参入事業者への支援

- ・業界向け説明会などの開催

既存施設の活用

- ・公募やPPP/PFIなどを活用した枠組みの検討

職員の意識改革

- ・行政側の職員を対象とした研修等の実施

- ・小水力発電事業者への支援



- ・研修等を通じて河川行政担当者の意識改革、情報共有

魅力ある水辺空間の創出

- ✓ 民間事業者の
占用許可期間
を延長
(河川敷地占用許可
準則の改正)

民間による河
川敷地の有効
利用を促進

- ✓ 「かわまちづく
り」支援制度の
活用

まちづくりと
一体となった
水辺整備を
推進

水辺を活用し
たい人々の取
組を積極的に
支援

多様な主体間
の連携を促進
する制度・運
用の改善

- ✓ 全国の多様な
取組事例の紹介
- ✓ 行政支援窓口の周知

- ✓ 「かわまちづくり」支
援制度による民間連携
- ✓ ミズベリング・プロ
ジェクトとの連携

